

整理番号	受付日
------	-----

■お申込み先 F A X : 0598-22-0003
 郵 送 : 〒515-8515 三重県松阪市殿町1340番地 1
 松阪市役所 観光交流課 宛
 メール : goushou@city.matsusaka.mie.jp

「松阪経営文化セミナー」受講申込用紙

(※は必須項目です)

（ふりがな） ※	
氏 名 ※	
住 所 ※ （方書・会社名）	〒 ー （ ）
電 話 番 号 ※	
メールアドレス	
参加希望セミナー ※	参加したいセミナーにチェック（☑）してください。 ☐ ①「江戸無血開城の立役者たち」 受付は終了しました。 ～1868年 松阪の商人たちの幕末・明治維新～ ☐ ②「地図を描く～松阪・その場所の力～」 受付は終了しました。
本セミナーへのご参加の理由や期待されることをご記入下さい。	

※受講の可否：各セミナーとも申込者数が定員になり次第、受付終了となります。（先着順）

※情報保護：お預りした個人情報は、受講通知発送の連絡等セミナー実施・検証の目的に限定して使用し、個人が特定できる形で漏出せぬよう管理いたします。

(お問い合わせ先)
松阪市役所 産業経済部 観光交流課
〒515-8515

三重県松阪市殿町1340番地1

電話：0598-53-4196（平日 9:00～17:00）

FAX : 0598 - 22 - 0003

メール: goushou@city.matsusaka.mie.jp



松阪市マスコットキャラクター
「ちゃちゃも」

江戸時代の流通経済を支えた松阪商人に学ぶ「松阪経営文化塾事業」

松 阪 経 営 文 化 セ ミ ナ ー

In 東京日本橋

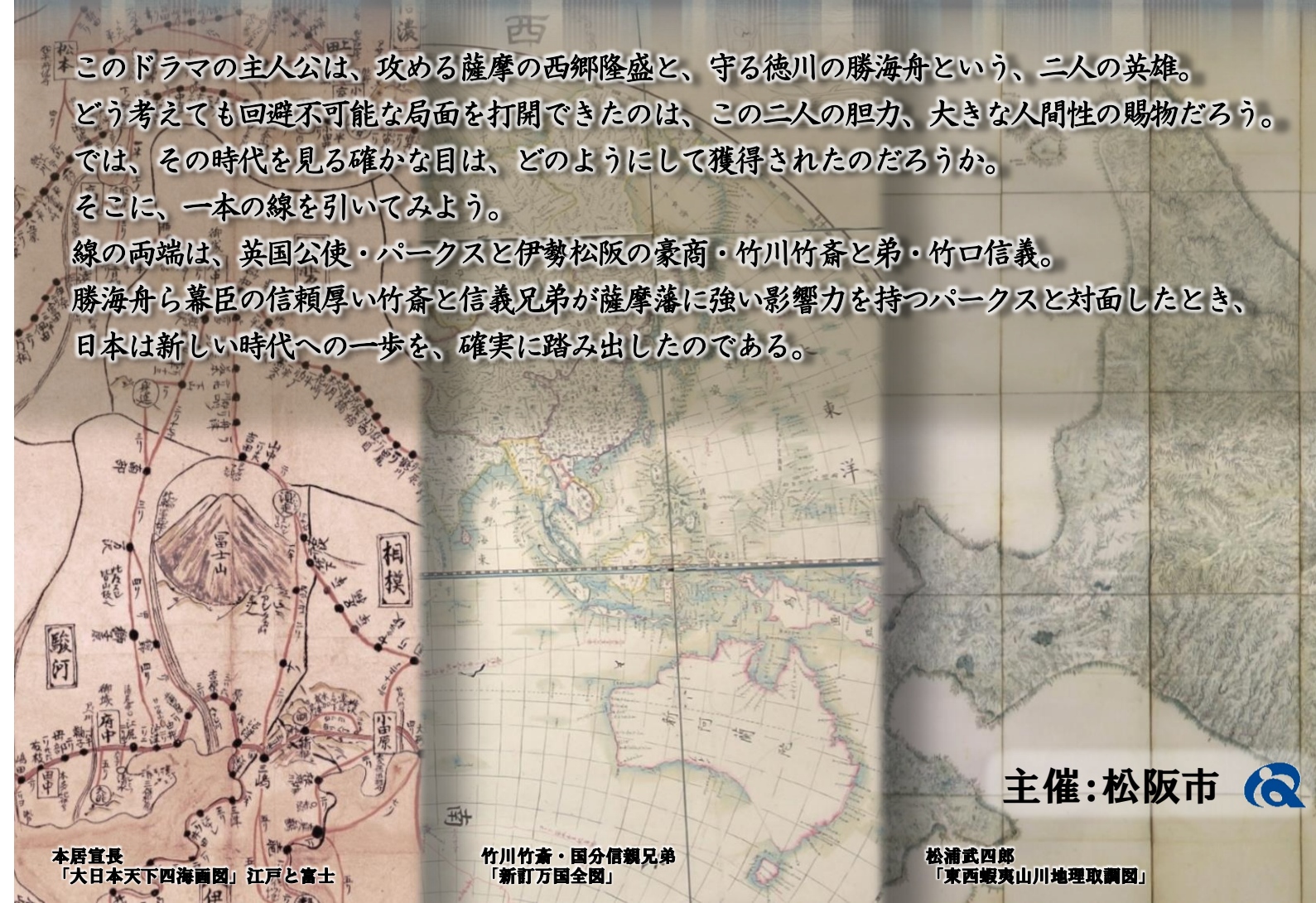
～松阪・その場所の力～

時代を見据える松阪人の目

江戸無血開城の立役者たち

このドラマの主人公は、攻める薩摩の西郷隆盛と、守る徳川の勝海舟という、二人の英雄。どう考えても回避不可能な局面を開けたのは、この二人の胆力、大きな人間性の賜物だろう。では、その時代を見る確かな目は、どのようにして獲得されたのだろうか。そこに、一本の線を引いてみよう。

線の両端は、英国公使・パークスと伊勢松阪の豪商・竹川竹斎と弟・竹口信義。
勝海舟ら幕臣の信頼厚い竹斎と信義兄弟が薩摩藩に強い影響力を持つパークスと対面したとき、
日本は新しい時代への一步を、確実に踏み出したのである。



本居宣長
「大日本天下四海圖」江戸と富士

竹川竹斎・国分信親兄弟
「新訂万国全図」

松浦武四郎
「東西蝦夷山川地理取調図」

主催：松阪市 

9/26
(月)

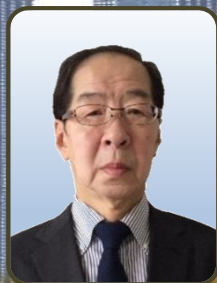
江戸無血開城の立役者たち

～1868年 松阪の商人たちの幕末・明治維新～

とき：午後6時30分～午後8時30分

【開場：午後5時30分～】

- 講師 西郷家 4代目当主 西郷吉太郎 氏
勝海舟 玄孫 高山みな子 氏
東竹川家13代当主 竹川裕久 氏
株式会社 ちくま味噌 代表取締役 竹口作兵衛 氏
- 進行 作家 河治和香 氏
公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館 館長 吉田悦之 氏
- 司会 フリーアナウンサー 山上和美 氏
- 会場 中央区立 日本橋公会堂 4Fホール
(東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目31番1号)
- 定員 400名 **受付は終了しました。**
- 内容 今回のセミナーでは、西郷隆盛、勝海舟、竹川竹斎、竹口信義のご子孫をお招きした。維新史の主役たちを、子孫の目で語っていただく。歴史の表舞台には出てこないような思いがけないエピソード、また、絶妙なバランス感覚と抜群の情報処理能力を培った伊勢国松阪という場所の魅力に、みなさんはきっと驚かれるだろう。セミナーの進行役は、「駒形どぜう」を舞台に、幕末明治を生き抜いた市井の人々の涙と笑いを描く時代長編『どぜう屋助七』で知られる女流作家・河治和香と、本居宣長記念館館長・吉田悦之の二人がつとめます。

作家
河治和香 氏公益財団法人
鈴屋遺蹟保存会
本居宣長記念館
館長 吉田悦之 氏本居宣長
「大日本天下四海画図」西郷家 4代目当主
西郷吉太郎 氏東竹川家 13代当主
竹川裕久 氏株式会社 ちくま味噌
代表取締役
竹口作兵衛 氏勝海舟 玄孫
高山みな子 氏10/23
(日)

「地図を描く ～松阪・その場所の力～」

とき：午後7時～午後8時30分

【開場：午後6時30分～】

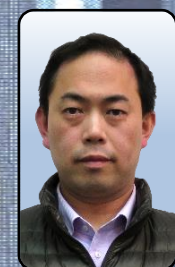
- 講師 公益財団法人鈴屋遺蹟保存会
本居宣長記念館 館長 吉田悦之 氏
東竹川家13代当主 竹川裕久 氏
松浦武四郎記念館 主任学芸員 山本命 氏
- 司会 フリーアナウンサー 山上和美 氏
- 会場 三重テラス
(東京都中央区日本橋室町2-4-1
浮世小路千疋屋ビル「YUITO ANNEX」2F)
- 定員 70名 **受付は終了しました。**
- 内容 さあ、どんな紙でも結構です。何も見ないで「日本地図」を描いてみてください。そして、そこに「東京」・「京都」・「和歌山市」と、「松阪」の場所を印してみてください。地図は、空間認識、世界観そのものです。人口一万位の小さな町「松阪」が、江戸時代から、明治維新前後まで、日本の経済や学問の一翼を担い、国家経営や外交に影響を及ぼすことができた秘密、それを三枚の地図で解き明かします。取り上げるのは、本居宣長「大日本天下四海画図」、竹川竹斎・国分信親兄弟「新訂万国全図」、松浦武四郎「東西蝦夷山川地理取調図」です。地図の魅力と、松阪が、その地理的な位置と地方都市であったことを存分に活かした知恵と工夫の数々。実際に「松阪」で体感していただくその前に、たっぷりとその魅力をお話したいと思います。



松浦武四郎 著 「北蝦夷余誌」より



松浦武四郎 著 「蝦夷漫画」より

公益財団法人
鈴屋遺蹟保存会
本居宣長記念館
館長 吉田悦之 氏東竹川家13代当主
竹川裕久 氏松浦武四郎記念館
主任学芸員
山本命 氏

応募方法等

◎募集期間

平成28年7月7日（木）から各セミナー開催日の2週間前の日の午後5時必着。

◎参加費 無料

◎応募手続

参加ご希望の方は、受講申込用紙により郵送、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。受講申込用紙は、松阪市のホームページからもダウンロードすることができます。

(http://www.city.matsusaka.mie.jp/)

なお、各セミナーとも申込者数が定員になり次第、受付終了となります。 **(先着順)**

◎その他

各セミナーの様子は、Ustream（動画共有サービス）にて生中継いたします。

当日、会場までお越しただけない方は、ぜひこちらをご覧ください。

【閲覧方法】Ustreamトップページで「松阪経営文化セミナー」と検索してください。